

～あなたの教室 どうしてですか？～

考えよう！ 持続可能な活動のために



開催日時：令和3年12月4日（土）13:30～16:30

開催場所：オンライン（Zoom） / 名古屋国際センター別棟ホール

対象：日本語学習支援活動に携わっている人、関心のある人

定員：オンライン 90名 / 名古屋国際センター別棟ホール 30名

参加費：無料

主催：東海日本語ネットワーク（TNN）

公益財団法人名古屋国際センター（NIC）

開催趣旨

当シンポジウムは日本語ボランティアの情報交換とネットワークの促進を目的に東海日本語ネットワークと名古屋国際センターが実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大によって日本語教室を取り巻く様々な課題が顕在化しました。コロナによる今日の状況をきっかけに、教室やボランティアの活動を見直し、持続可能な活動について事例紹介などを交えて参加者皆で考えます。

プログラム

※敬称略

主催者挨拶	酒井 美賀 (東海日本語ネットワーク 代表) 古川 直樹 (公益財団法人名古屋国際センター 理事長)	13:30~14:40
総合司会	加藤 智恵子 (ことばの会)	
事例紹介:持続可能な活動の工夫		13:40~14:55
1. ボランティア日本語教室のIT化とオンラインクラス運営 ~ALOE日本語教室「あかさたな」「おしゃべりカフェ」~ 土井 和 (ALOE 海外生活体験のある女性の会 代表)		
2. 地域のボランティアとともに作る対話型日本語教室 ~TIAにほんごひろば、つながるにほんご、アバンセ日本語教室~ 得永 美穂 (豊田市国際交流協会 とよた日本語学習支援システム システム・コーディネーター)		
3. 地域連携のきっかけと今後の展開 ~自主夜間中学 はじめの一步教室~ 笹山 悦子 (愛知夜間中学を語る会 代表)		
進行:米勢 治子 (東海日本語ネットワーク)		
意見交換会		15:05~15:50
進行:仲村 佳子 (いろは日本語の会)		
報告:地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業について		15:55~16:25
報告者:千葉 月香 (あいち地域日本語教育推進センター 総括コーディネーター)		
報告者:浅野 順子 (公益財団法人名古屋国際センター 交流協力課 主査)		
進行・コメント:鈴木 崇夫 (愛知淑徳大学 初年次教育部門 助教)		
閉会挨拶	山本 剛 (東海日本語ネットワーク)	16:25~16:30

申込期間 令和3年11月2日(火) 10時 ~ 11月21日(日) 17時
(上記期間以外の申込はお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。)

申込方法

- ・名古屋国際センターのウェブサイトからお申し込みください。
- ・E-mailでの申し込みも受付します。E-mailの場合、「氏名/フリガナ/TEL/所属/TNN会員・非会員/参加方法(オンライン/名古屋国際センターでの参加)」の各項目をお知らせください。

※先着順。定員になり次第、受付終了。
※メールでの申し込みの際の件名は「日本語ボランティアシンポジウム申込」と表記。

申込・問合せ 公益財団法人名古屋国際センター 交流協力課
TEL: (052)581-5689 (問合のみ)
E-mail: seminar-vol@nic-nagoya.or.jp
Web: <https://www.nic-nagoya.or.jp>